

1 日本ボート協会／パラローイング委員会

日本のパラロウイングの支援・統括組織は、2006年の日本アダプティブローイング協会に始まり、2013年にNPO日本パラローイング協会(JPRA)に改名し、2018年6月に、(公社)日本ボート協会のパラローイング委員会になりました。パラローイング委員会は、世界選手権やパラリンピックのために、日本代表選手を育成、選考、派遣しています。

公益社団法人日本ボート協会 <https://www.jara.or.jp/jara/>

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

TEL(03)3481-2326 FAX(03)3481-2327

※2018年8月現在は、まだJPRAのサイトが機能しています。

NPO 日本パラローイング協会 http://www.e-jaa.jp/index_pc.htm

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-28-10

TEL:03-6912-4300 FAX:03-6912-4301

2 各地のパラローイング活動

各都道府県のパラローイングの支援・統括組織は、各都道府県ボート協会の内部に構成されているはずですが、しかし残念ながら、地域のパラロウイングの活動は、まだ一部に限られ、ほとんど活動実態のない水域のほうが多いのが現状です。パラロウイングの支援経験がないために、遠まわしに敬遠される可能性もあります。

しかし、あなたが自分のパラロウイング活動を展開したい場合は、地域のボート協会か日本ボート協会のパラローイング委員会に問い合わせ、各都道府県か近隣のパラローイング活動を紹介してもらうことをお勧めします。

地域にはきっと、パラロウイングに理解を示し、希望者がいれば積極的に支援を惜しまない人がきっといるはずです。あきらめずに良き支援者をさがりあてるべく、がんばってください。

現在、地域的に比較的活動が活発な水域は、神奈川（横浜・鶴見川、相模湖）、滋賀県、長野県などです。

神奈川県（鶴見川と相模湖）では、代表チームなどの活動が継続的に行われています。

滋賀県では、2013年に、琵琶湖ローイングクラブが活動を始め、さまざまな障害を持つ人が一緒になって、活動を発展させています。

<http://www.biarow.jp/>

広島県広島市・太田川水域では、2006年頃から広島県アダプティブローイング協会が活動を開始し、代表 LTA4+が練習を重ねたり、福岡からも参加者がいました。しかし 2015年頃からは活動が減り、現在は一部の選手が琵琶湖 R C の活動に合流しています。